

しんゆり ZINE

特集

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムのいま



わくわく、したくなってきた？



INSPIRE HUB SHINYURI

つどい・つながり・めぐるめく

— みんなが輝く しんゆりへ —

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム
<https://inspire-hub-shinyuri.com/>

CONTENTS

04 特集

つどい つながり めくるめく

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムのいま

- 04 story01 新百合ヶ丘フェスティバル・マルシェ
- 06 story02 kirara@アートしんゆりxしんゆりステーションピアノ
- 08 story03 新百合ヶ丘駅南口「デッキチーム」
- 10 story04 しんゆりオープンミーティング
- 13 story05 防災「おうちキャンプ」



14 食を楽しむ

“繋がり”を大切にするフレンチレストラン
カジュアルフレンチ リアン (Lien)

16 しんゆりの履歴書

第九章「憧れの街は姿を表さず」

18 しんゆりほっと SPOT みんながどうコミュニティカフェ

“ただいま”とくつろげるみんなのリビング
CAFÉ & SPACE L.D.K.

21 コミュニティ会員のいま

Beaulily/ ロコっち新百合ヶ丘 / ふらっと新百合ヶ丘 /
Link mama

22 SHINYURI PEOPLE しんゆりを愛する人々

こども SDGs フォーラムも開催
あさおのSDGs

2021年12月20日発行

[発行元]
新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム
〒215-0004
川崎市麻生区万福寺1-1-1
新百合ヶ丘シティビル6F(事務局)
TEL 044-954-3302
FAX 044-955-8691
MAIL office@ih-shinyuri.com
WEB https://inspire-hub-shinyuri.com/

[企画・制作]
株式会社ビュグラ
WEB https://www.bugler.jp/

[表紙]
design 永井裕明(N.G.inc.)
copy 瀬戸忠保(おもう)
illustration 日高基

しんゆり人の
バックナンバーは
こちらから



INSPIRE HUB SHINYURI



つどい つながり めくるめく
みんなが輝く しんゆりへ



新百合ヶ丘を舞台に描く、小田急線の暮らし模様。
アニメーション「顔を上げれば」を公開中。

小田急沿線には、いつでも、いつまでも
自分らしい生活を送ることができる
魅力ある、さまざまなまちが点在しています。

まちを行き交い、今日という一日を大切に過ごすみなさまのために、
私たちは全力で、安心してらせる毎日をつくり続けます。

「わたしのまちのすてき、見つけてみませんか」

あなたがくらすまちのすてき、
#小田急線と言葉を組み合わせ

ぜひシェアしてください。

odakyu.machikurashi インスタグラムも公開中です。



小田急線、まちとくらし。
www.odakyu.jp/town-life





01.人気のキッチンカーエリア。いまはテイクアウト中心だが、コロナ禍の前は、休憩スペースも出され、ベデストリアンデッキはゆっくり憩いの場に。02. 小ぶりのテントにはこれぞ!という品が見つかる。イオンスタイル前のウエストエリア。03. 地域の若手農家たち「畑から、台所へ。」はマルシェの重要なアイコン。04. 足元シールでディスタンスキープ。05. スタンブラー景品交換所にも飛沫防止シート。06. 木に触れ合う体験コーナー。檜山公園にこんなに人が集まるのは初めて?! 07. 町田市の観光スポットを紹介。08. しんゆりの良い点、課題点をヒアリング。09. 専修大学生たちも。



青と白のテントが並ぶ。新百合ヶ丘を紹介するお決まりのアングルとなった。

story 01

賑わいを作り出す「しんゆりフェスティバル・マルシェ」 「つどい・つながり・めくるめく」の場として

しんゆり流・課題解決アプローチ

「持続的にエリアマネジメント活動を行うことにより、地域課題を解決するとともに地域の魅力を伸長させて新百合ヶ丘をサステイナブルな街にする」これは、新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムの目指すべき目標。地域課題の解決だけで考えていくと、行き詰まりを感じてしまいがち。コンソーシアムのアプローチは「つどい・つながり・めくるめく」。しんゆりフェスティバルマルシェは、このアプローチを支える大切な場となっている。

1年ぶりでも、3つもGrowth

3月から6月、9月から12月の第三土曜・日曜日に年8回開催される「しんゆりフェスティバル・マルシェ」は、2021年12月で30回を迎えた。残念ながらコロナの感染対策の中で20年度は3回しか開催できず、21年度は11月に1年ぶりの開催となった。運営担当者、現場設営のスタッフ、そして出店者も1年ぶりの再会を喜んだのはもちろん、来場者の変わらぬ笑顔が

一番嬉しく感じられた。

コラボが生まれる場

第29回(21年11月20日・21日)のマルシェでもいろいろな地域課題へのアプローチが散りばめられている。南口エリアに隣接する万福寺檜山公園では、「しんゆり 優しい木のひろ

ば」が、川崎市まちづくり局が進める「木材利用推進」のキャンペーンだ。チェンソーの実演見学、ノコギリ体験、輪切り丸太を使ったバズル製作。小田原市からは、ひのき玉詰め放題、かまぼこ板積木の遊び場や静岡県「オクシズ材」を使用した天然木製ブロック「シズレンガ」の遊び場など、木に触れ合う体験をファミリー層が楽しみ、登戸駅周辺でも出店するコーヒータンや甘酒などのキッチンカーで、くつろぎ感を増していた。このイベントの一環としてしんゆりの魅力や課題などをヒアリング。ゆったりとした時間の中で住民や来街者への調査も入った。「町田市観光コンベンション協議会」は、インスタ映えするマンホールモチーフを使い、町田市の観光スポットをアピール。専修大学経営学科のゼミは、美味しいお米を販売しながら、フィールドとして取り組んだ米の流通販売のヒアリングも。

さまざまなたちが「地域課題」を、柔らかに「つどい・つながり」ながら、「めくるめく」解決への道筋を見つけていく。マルシェの名称に付けられた「フェスティバル」には、そんな目眩くことが起きるように!との願いが込められている。

イルミネーションイベント「Kirara @アートしんゆり2021」(詳細は次ページに)の点灯カウントダウンや、「NPOしんゆり芸術のまちづくり」が事務局を担い、コンソーシアムを支援する人気イベント「しんゆりステーションピアノプラス」も、マルシェの日程の中で行われ、新百合ヶ丘の魅力をじっくり味わえる2日間だった。

イルミネーションとステーションピアノも一緒に

今年15回目を迎え、コンソーシアムの組織の基盤を作ったとも言える

マルシェの開催について

拡大	同規模	縮小	非開催
67%	32%	0%	0%

ステージ・イベントの開催について

良い	感染対策で	まだ早い
52%	45%	3%

飲食・休憩スペースについて

良い	感染対策で	まだ早い
33%	54%	13%



第29回マルシェ会場2日間400人を超える来場者アンケートの回答をいただいた。①マルシェ開催については良い。②ステージ・イベントの開催についても良いが、感染症対策を。③飲食、休憩スペースについては、13%の方からは「まだ早い」、とのこと意見。

[INFORMATION]

しんゆりフェスティバル マルシェ

ホームページ



facebook



Instagram



twitter





青いイルミネーション・ドームは新百合ヶ丘に魅力ある場所を生み出した

story
02

風物詩となった15年目の「kirara@アートしんゆり2021」 ふるさと・新百合ヶ丘の思い出につながる輝きに

第2のまち開きとなった 2007年

いまから15年前、2007年は新百合ヶ丘が大きく姿を変えたエポックとなる年。昭和音楽大学が厚木から移転開校、「テアトロ・ジューリオ・シヨウワ」と名付けられたオペラハウスのある街となった。

駅北口側では万福寺エリアの区画整理が終わり、1万人が住むことになる街ができた。まちの玄関口にあたる万福寺交差点には、小劇場と映像館の入る「川崎市アートセンター」が開館。芸術のまちづくりをすすめる新百合ヶ丘には、日本映画学校(現・日本映画大学)もあり、この2校の存在が、類を見ないジャンルの拡がりを持つ芸術祭「アルテリッカしんゆり」の誕生に繋がっていく。

しんゆりが思い出になる写真が 撮れる場所を

この年、川崎市と大学・民間企業団体により、「しんゆり・芸術のまち」PR委員会が設立された。その会合後の懇親の場で、川崎駅・市役所通

「Kirara@アートしんゆり」を毎年進める中で、企業が協賛金を出し、まちづくりに貢献するという枠組みが固まっていき、新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムの基礎を作っていくことにもなった。

新百合ヶ丘商店会 大型商業施設の「コラボでしんゆりハロウィン」

新百合ヶ丘で、ファミリーで楽しめるもう一つのイベント「しんゆりハロウィン」。コンソーシアムが支援する活動の一つだ。コロナ禍前には350組のファミリーが、麻生警察署の協力のもと仮装パレードを行ってきた。今年もオンライン開催となったが、最終選考はしんゆり交流空間リリオスを会場に行われた。

YouTubeにも人気の「しんゆりステーションピアノ」

2019年11月から12月、川崎市とコンソーシアムなどが行った「しんゆりステーションピアノ」。YouTubeなどで各地のストリートピアノが話題になっていたが、新百



左：しんゆりハロウィン・フォトコンテストの最終選考での記念撮影。新百合ヶ丘商店会やショッピングセンターなどからの商品もうれしいが、みんなで撮ったこの一枚もうれしい。右：審査員をお願いしたショッピングセンターの担当者の皆さん。仮装にも応募者に負けない力の入れよう。

り周辺のイルミネーション事業が終了することが話題になった。スマートフォンが発売された時期にも重なり、「しんゆり」は豪華なイルミネーションでなくてもいい。大きめツリーがあって、思い出の写真が撮れる場所があるといい」と盛り上がった。翌朝、緊急ミーティングが決まり、実行案を検討。企画書ができ、資金集めが始まった。新百合ヶ丘のイルミネーション誕生秘話?である。

合ヶ丘駅構内に置かれたピアノは、多くの弾き手と観衆を集めた。昭和音楽大学の協力できちんと調律されたピアノは、各地で演奏をするユーザーからも「状態のいいピアノで演奏できてうれしい」と評判を得た。数百万回再生された動画が何本も出るほどだった。

コロナ禍で駅構内でのピアノ演奏が難しくなり、駅南口ベデストリアンデッキでの「しんゆりステーションピアノプラス」として、春のアルテリッカしんゆりの時期に開催、好評を得た。11月20日、21日には「Kirara@アートしんゆり」とのコラボとして、イルミネーションの輝きの中で演奏が実現。また、新しい思い出の演出が生まれた。

[INFORMATION]
kirara @アートしんゆり2021

ホームページ  しんゆりステーションピアノプラス 

しんゆりハロウィン 



01.音楽や歌声が響く街への想いを、輝きに込め、音符をモチーフにしたメインツリー。今年のテーマは「心で歌う夜」。たくさんの方が『しんゆりの思い出』を撮影してくれる。02.03.イルミネーション点灯後にメインツリーの前に置かれたピアノ。希望者17人の演奏が光と共に街に溢れた。04.南口デッキのオリーブの植栽が光のラインをつくる。05.駅北口・しんゆり山手中央通りの街路樹のイルミネーション。アートセンター前に灯る「ガス燈」の柔らかな光とのコントラストも美しい。06.07.ステキな演奏が続くステーションピアノプラス。新百合ヶ丘での思い出の一コマが撮られる。



01.デッキに集まる鳩たち。共存したい。02.一面鳩フン。呼びかけで鳩にエサを与える人は少なくなったが、居心地の良い場所は決まっているよう。03.コロナ禍でソト飲み跡も。汚すのはヒトも。04.05.こびりついた鳩フンに水を撒きふやかして、スチール・デッキブラシでゴシゴシ。06.活動スタート。あなたは鳩フン担当、あなたは花壇の草取りを。07.08.きれいに咲いて!クリーンアップ大作戦では、花の苗をみんなで植える。ロゴ入りTシャツで地域貢献アピールも企業の大切な仕事。09.10.雑草取り、水やり。花壇維持のために地道な活動。



100人集まるとあうという間にまちがきれいになる!

まちの玄関、くつろぎと出会いの居間、アートのステージ… アートデッキを目指し「デッキチーム」活動中

「とても美しい。芸術的でさえ…」

竣工時(1983年)の新百合ヶ丘駅南口の写真を見た人が、感激の声を上げた。(中略)デッキや駅前広場は、周辺の豊かな緑と丹沢の山並み、富士山を借景として、一つのアート作品のようにまちに現れたのである。(本誌「しんゆり人」の特集「しんゆりの履歴書 第4章 南口デッキはアート作品だ」より)

竣工当時は駅周辺に建物はなく、住民のまちへの期待を映すように、アート作品のような輝きを見せていた。

1992年に小田急エルミロード開業、1997年にOPA、イオンスタイルのビルも建ち、都市としての佇まいが整った1998年、新百合ヶ丘の街並みは都市景観大賞「都市景観100選」に選ばれた。総体として高い水準の都市空間デザインが評価された。ところが、足元のバスロータリーへの階段の壁面は落書きで覆い尽くされ、デッキは鳩のフンの汚れが目立つ荒れた状況だった。

すぐに、「あさお落書き消し隊」が結成され、地域住民や周辺の商業施設や企業からも人が出て、定期的な落書き

毎月1回 デッキ美化・植栽管理

「定例デッキ活動」は、毎月第3金曜日10時〜11時。第3土曜・日曜日はしんゆりフェスティバル・マルシェ開催なので、その前にまちをきれいにしようという活動。業務の負担にならずに参加できるように1時間限定とした。コンソーシアムのデッキチームメンバー、会員企業の社員・スタッフ、コミュニティ会員メンバー、そして麻生区役所、麻生区道路公園センターも必ず参加している。

100人規模で クリーンアップ大作戦

さらに多くの人に参加してもらえよう。春、秋の年2回、麻生区役所とコンソーシアムの共催で「クリーンアップ大作戦」を開催している。定例活動の拡大版で、植栽の整備、鳩フン対策に加え、オリーブの植栽柵に花を植える。花の苗については、一般財団法人・川崎新都心街づくり財団、市の「花いっぱい運動」からの助成を受けている。花を植えると、水やりも必要。OP&エルミロードのビル管理会社



左：年2回のクリーンアップ大作戦。麻生区長、コンソーシアムの代表幹事も参加して、一緒に汗を流す。
右：誰でも参加できる大作戦。春は5月中旬、秋は10月下旬ごろ開催予定。

消し作業が今でも続いている。ゴミ拾いなどの清掃活動も、さまざまな市民団体も参加して行われてきている。この経緯がコンソーシアム幹事会で説明され、なかなか手がつけられなかった鳩フンの清掃、デッキの植栽、花壇の整備をコンソーシアムの事業として進めていくことになる。

が散水栓の使用を快諾してくれ、定期的に散水もできるようになった。

「作業中にみなさんが、きれいな花が咲いていますね、と声をかけてもらえるのがうれしい」「鳩フンの清掃は終わりがありませんが、きれいなデッキで鳩と共存できていると考えています」とメンバーたち。

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムのデッキチームは、維持管理にとどまらずに、まちの玄関だからこそ、くつろぎと出会いの居間のような、そしてアートのステージにも使えるデッキにしていきたいと企画検討も進めていく。

[INFORMATION]

デッキチームの活動について

<https://inspire-hub-shinyuri.com/>

コンソーシアムのホームページに掲載



<https://inspire-hub-shinyuri.com/report/8283.html>

クリーンアップ大作戦について



2020年度 オープンミーティング

- 第1回 9月16日 「SDGsの世界を知る①」(今井雄也さん)
- 第2回 9月30日 「SDGsの世界を知る②」(今井雄也さん)
- 第3回 10月14日 「麻生のおうちキャンプ～自助について考える～」(麻生区危機管理担当)
- 第4回 10月28日 「農から考えるしんゆりの持続」(畑から台所へ)
- 第5回 10月28日 「ESG投資から紐解く10年後の新百合ヶ丘」(三井住友DSAM)
- 第6回 中止 「しんゆりプラネタリウム×クラシック生演奏」(アストロネット荒井大作さん)
- 第7回 1月20日 「小田急グループがMaaSを通じて実現したいことそして新百合ヶ丘の未来」(小田急電鉄 経営戦略部 大橋健次さん 経営戦略部の落合康さん)
- 第8回 2月17日 「新百合ヶ丘駅南口デッキを輝かせる!」(コンソーシアム・デッキチーム)
- 第9回 3月15日 「麻生区企業防災セミナー」(アジア航測・小川紀一郎社長) ※麻生区災害対策連絡協議会との共催



21年度 第6回



21年度 第1回

2021年度 オープンミーティング

- 第1回 4月14日 「福祉の今を知る～超高齢地域の今とこれから」(SOERUTE 山上剛史さん)
- 第2回 5月12日 「人ナビゲーションで“探す・移動”が変わる」(LOOVIC 山中亨さん)
- 第3回 6月16日 「SDGs×川崎プレイサウンダース&ONE～スポーツがつなぐ地域の共生・共栄」(DeNA川崎プレイサウンダース 元沢伸夫さん)
- 第4回 7月14日 「雇用をデザインする～働き方の多様性～」(ストーリー 松尾実里さん)
- 第5回 9月15日 「心に残るグリーンアンの緑化事業とは」(グリーンアン 岡田陽介さん)
- 第6回 10月13日 「麻生区×農業×未来～都市近郊農業の6次産業化に迫る～」(カルナエスト 山田真さん)
- 第7回 11月24日 「Drive Sustainability～地域で働く～」(野村證券 工藤俊佑さん)
- 第8回 12月15日 「すべてはオペラから始まった 昭和音楽大学80年の歴史を紐解く」(東成学園・昭和音楽大学 下八川 共祐さん)
- 第9回 1月19日 「住まいの低炭素化最前線 本造マンション(福城プロジェクト)」(三井ホーム 戸村将人さん)
- 第10回 2月17日 「飯・登戸・遊園、下北沢 まちづくり」(小田急電鉄 エリア事業創造部)



21年度 第7回



21年度 第3回



21年度 第4回



21年度 第5回



2021年度 第2回しんゆりオープンミーティング。ZOOMでのオンライン配信も。

各分野の話題提供者を招き「しんゆりオープンミーティング」
SDGs、ESGの視点でまちづくりを考えると違う世界が見えてくる

オープンミーティングって

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムの初年度から開催されていた「セミナー」を、会員企業の交流と同時に地域に住む皆さんと持続的なまちづくりを進めて、共創していくためのセミナー、イベントにアップデートさせたのが「しんゆりオープンミーティング」。

新型コロナウイルス感染拡大により、従来同様の対面イベントのみの実施では開催が厳しくなり、20年度上期はオープンミーティングも中断。オンライン配信を進めていかなければならないタイミングでもあった。会場である「しんゆり交流空間リリオス」に話題提供者を招き、ZOOMで開催。まだ馴染みがないオンライン・ミーティングだったが、始めてみれば話題提供者と参加者の話も弾むようになっていった。

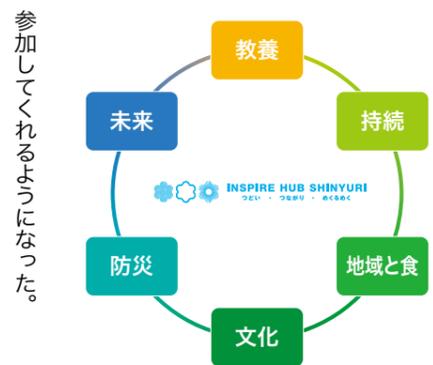
オープンミーティングのメインターゲットはコンソーシアム会員企業の経営者、社員・スタッフばかりでなく、子育て世代から最近では20代でまちづくりに取り組む人たちも、オープンミーティングのことを聞きつけて

防災：自宅、広域避難場所での防災訓練と日常のキャンプを織り交ぜることでも「楽しみ」も付け加える
未来：2030年代以降のしんゆりの変化を「じぶんごと」としてもらうために

21年度はかわさきSDGsパートナーに

コンソーシアムでは、川崎市のSDGsパートナーの募集に応じて、21年度はパートナー登録をした。コンソーシアムの基本理念として、目指すべき目標を「持続的にエリアマネジメント活動を行うことにより、地域課題を解決するとともに地域の魅力を伸長させて新百合ヶ丘をサステイナブルな街にする」と定めた。また、目指すべき将来像は、

- ① 緑と農の溢れる街/都市の里山
 - ② 芸術と文化を誰もが実感する街/みんながアート
 - ③ オープンで多様性のある街/つどい・つながり・めぐるめく。
- つまり、コンソーシアムの活動そのものがSDGsの活動と言っても良い。



参加してくれるようになった。

SDGsをガイドラインに「コンセプトテーマは6つ」

コンセプトは大項目として6つ。SDGsのまちづくりをどう進めていくのかをガイドラインとしている。教養・教育機関、行政機関に依存せず、「しんゆりエリアならではの」で享受できる教育コンテンツ 持続：参加者による新しいネットワークの構築やエネルギーと使い方、働く環境など 地域と食：しんゆりエリアにある食と農を中心に、フードロスにならないための取り組みなども 文化・芸術：文化の街を醸成させる。アカデミックだけでなく、民間企業も含める

22年度はゴールドパートナー 認証申請予定

22年度はさらに活動の目標を数値化して、インジケータを作り、かわさきSDGs「ゴールドパートナー」への申請も行う予定だ。

オープンミーティングは誰でも参加できる。コンソーシアム活動を知ってもらうには、オープンミーティングなどの話題を集めたYouTube「しんゆりチャンネル」がわかりやすい。コンソーシアムのホームページからも入れるので是非ご覧いただきたい。

[INFORMATION]

しんゆりオープンミーティング
<https://inspire-hub-shinyuri.com/open-meeting>



IHS しんゆりチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCCYUvikaFrjh4rOZydlU3Lw>



新商品 Lascène 新百合ヶ丘に建築

ラセーン

アフターコロナに求められる、これからの住宅の役割を考え抜かれた、
新世代クラシックスタイル



CLASSIC
×
NEW LIFE

特集 新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムのいま



月に一度の“あさお”の新習慣
おうちキャンプで備えよう!

01.黒川青少年野外活動センターの区民防災塾では、リアル・キャンプ体験。02.総合防災訓練では会員の横浜トヨペットが自動車の電池活用、キャンプ仕様のワゴン車など展示。03.ハンドブックにはイオンスタイルや無印良品、三井ホームなど会員企業が具体的な提案を掲載してわかりやすいと好評。



story
05



麻生区危機管理担当とコンソーシアムとのコラボ防災訓練開催 いざという時に具体的に役に立つ視線と貢献を

企業市民として自助を進めるには

「防災時の公助、共助は市民へ働きかけやすいのですが、自助を考えるとらうのは難しい...」。

麻生区危機管理担当セクションとコンソーシアムのコラボが始まった。まず「麻生区版 わが家の防災ハンドブック」を作成。

小・中学校が避難場所になっているが、本当に避難が必要な人の場所。多くは自らの備えで対応しなければならぬ。「おうちキャンプ」で楽しく防災対策をしようと呼びかけた。具体的な対応を会員企業が提案。さらに企業防災セミナーや区民防災塾の共催。総合防災訓練では、会員企業が関連展示も行なっている。

11月に金程中学校で開催された避難所開設訓練・宿泊体験では、会場参加者を限定する一方、コンソーシアムがYouTubeでの同時配信に協力した。麻生区危機管理担当とコラボで、いま、地域の人たちに気軽に防災学習をしてもらえる映像制作も進んでいて、新しい取り組みが続いている。

[INFORMATION]

コンソーシアムの防災サイト

<https://inspire-hub-shinyuri.com/bousai>



まちの防災サイトの紹介

<https://inspire-hub-shinyuri.com/bousai/bousai-links>



左：企業防災セミナーでは、災害状況把握でも活躍する会員企業、アジア航測・小川社長に講師を。
右：備蓄やローリングストックについて、イオンスタイル新百合ヶ丘の通常販売商品の活用説明も好評。



ダイニング兼用
多目的利用可能な
「ワークテーブル」



カフェのように
個々に集中して作業する
「ワークカウンター」



音に配慮しWEB会議・
SNS配信も可能な
「ワークスタジオ」



完成イメージ図

新百合ヶ丘モデルハウス

来春リニューアルオープン決定!

2022年4月中旬(予定)

新商品モデルのお問い合わせはこちら



三井ホーム 神奈川支店新百合ヶ丘営業所

0120-766-321

WEB予約は
コチラ





01. 特選牛フィレ肉、仏産フォアグラ、黒トリュフソースのロッシニ。 02. コールラビ、紅くるり大根、うずまきピーツなど旬を彩る珍しい三浦野菜。 03. メニューは幅広いシーンに合わせて選べる4〜5つのコースで構成。※料金など詳細は下記WEBサイト参照。 04. テイクアウトメニューも充実。写真はオマール海老が入った「リアンコース at home」。他にリアン弁当、オリジナルカレーやスープなど真空パックシリーズも。家庭でリアンの味を堪能できる。 05. ナチュラルウッドと白の明るい空間。オープンキッチンのライブ感やシェフとの会話を楽しめる。 06. オーナーシェフの二川裕一さん。繊細な料理が次々と生まれる。



カジュアルフレンチ リアン (Lien)

“繋がり”を大切にするフレンチレストラン

文/古谷 玲子 撮影/松田 恵美

日に届きます。スタッフや家族を連れて現地に行くこともある。良い素材を仕入れることができるのも、日頃から信頼関係を築いているからこそ。お客様との信頼関係も大切にしている。全席を見渡せるオープンキッチンから、お客様の反応や好み、会食の目的などを瞬時に把握し、対応する。「お客様に幸せな時間を過ごして欲しい」という思いはスタッフ全員にも浸透している。

「リアンはフランス語で『繋がり』という意味。お客様をはじめ、こだわりの生産者や仕入れ先の方々と、の絆をさらに深めていきたいですね。」

二川シェフの手から生み出される料理の数々は、発想が自由なものも魅力だ。柴漬けや柚子胡椒、七味や味噌など、和の調味料なども次々と取り入れ、素材のおいしさを引き出している。たとえばバーニャカウダ。茎わさびを加えたオリジナルソースは魚や野菜との相性も抜群だ。

「日本にもいい素材がたくさんありますよね。フレンチをベースにしつつ、そういったいい素材を自分の感性のまま、料理という『ステージ』で表現していければ」と語った。

[INFORMATION]

カジュアルレストラン リアン (Lien)

川崎市麻生区百合ヶ丘1-19-2 星ビル

(小田急線百合ヶ丘駅南口から徒歩約2分)

TEL.044-455-4199

🕒 11:30~14:00 (L.O.13:00)、
17:30~23:00 (L.O.20:00)

※完全予約制 ランチは当日11:00まで、
ディナーは当日16:00までの予約

🚫 水曜(不定休あり) 🚫 無し

<http://casual-french-lien.com/>



新百合ヶ丘エリアで数少ないフレンチで地域貢献をしたいと開業してから、今年で6年目。コロナ禍でキャンセルが相次いだときには気落ちしたが、持ち前の探究心で、空いた時間を価値ある時間に塗り替えた。免疫力のつくメニューの考案、ワインの勉強、惣菜免許の取得などに次々と挑戦。「将来的には麻生区産の野菜をフレンチに加工するなど麻生区産ブランドینگも構想中です」と地域への思いを新たに「二川さん」。

2022年はコースメニューをリニューアルし、コースに合わせたワインやノンアルコールペアリングにも力を入れていくという。

「三浦野菜は味が濃くて甘みや香りも強いんですよ。畑で生でかじったときの感動をお客様に届けたくて」と話すのは、「カジュアルフレンチリアン」のオーナーシェフ、二川裕一さん。広尾エノテカなどで修業後、代官山グラナダスイートでの料理長を経て、2015年より地元百合ヶ丘で腕を振るう。店内には出窓から太陽の光が差し込み、春には桜も楽しめる。

店のコンセプトはカジュアルとフォーマルの2つの用途で楽しめるフレンチレストラン。無農薬の三浦野菜を主軸に、本格的なコース料理を提供する。コース料理にこだわるのは、「大人が落ち着いた空間でゆっくり楽しめるフレンチレストラン」を作りたかったから。一部のランチを除き、前菜、魚料理、肉料理、デザート、食後のドリンクまでのフルコースを楽しめるほか、厳選されたフランス産ワインも多く取りそろえる。

「契約農家さんから普段市場に出回らない旬の三浦野菜を直接仕入れています。旬の野菜情報が速報で入ってくるので、逆に旬の野菜しか入荷しない(笑)。朝採り野菜がその

第九章 あこがれの街は姿を表さず

文／編集部



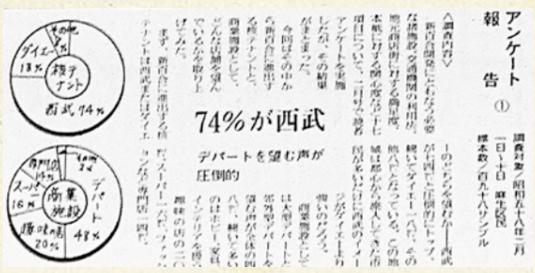
01



02



03



04

01. 看板だけしかない百貨店予定地(現・イオンスタイル新百合ヶ丘。奥に見えるのはセゾングループ企画での高級賃貸マンション・ベルクレエと女子学生会館・コゼット。レストランやプールも作られた。1988年頃) 02. 百貨店予定地より新百合ヶ丘駅(現・小田急アコルデ新百合ヶ丘) 03. ペDESTリアンデッキからエルミロードの裏手の日能研などのビルが見える。となりの現・OPA新百合丘の建物もまだない。04. マイタウンらぶりいあさお83年3月1面より

来年(2022年)は麻生区が誕生して40周年を迎える。

1974年に新百合ヶ丘駅が開業、3年後に始まった駅周辺の造成工事が5年かけてほぼ完成。麻生区役所が建てられ、業務が始まったのが82年7月だ。当時の普通のまちづくりなら、駅周辺のビル建設がどんどん進むところだが、新百合ヶ丘はなかなか進まない。84年に新百合ヶ丘のペDESTリアンデッキなどが全て完成して、アートのような風景が出来上がり、北口側の業務系のビルは着工になるが、住民待望の商業施設の動きは無く、広大な空き地が広がっていた。

その頃、麻生区のタウン紙「マイタウンらぶりいあさお」には、新百合ヶ丘駅の核テナントがどこに決まるかという話題が紙面に何度も取り上げられた。最終的には「ダイエーグループ」と「西武セゾングループ」の一騎打ちとなる。同紙は読者アンケートの結果、「住民の74%は西武を望んでいる」と書き、83年、核テナントは西武セゾングループに決まった。81年に渋谷パルコを開業させ、イメージが絶頂だった同グループ百貨店は「西武百貨店」、ホテルは「ホテル西洋銀座」、西友が立ち上げた「無印良品」も入り、文化面では「シネセゾン」「WAVE」「バル」劇場などの要素が入った計画を提出。「公園通り」「スベイン坂」などと名付けた西武セゾングループのまちづくり戦略が、新百合ヶ丘のまちづくりでも華やかに進められていくことを住民たちは夢見ていた。

ところが、「リクルート事件」で川崎市の行政停滞や、バブル崩壊でイメージ戦略が機能せず、百貨店離れの勢いも急落。結局94年に撤退を発表した。時代の流れに巻き込まれた新百合ヶ丘駅周辺は、92年に、「小田急エルミロード」が開業するまで大型商業施設はなかった。駅が開業して18年かかったことになる。

（ほっ）とSPOT

しんゆり みんながつどう コミュニティカフェ

04. キッチンを備えたレンタルルームは、お菓子づくりや料理教室などにぴったり。05. ホワイトボードやプロジェクターなどの貸し出しがあるので、会議やセミナーなど、ビジネス利用も可能。06. ヨガ教室や床パレエ、ペピーマッサージなどの利用も。07. フラワーアレンジメントなどのワークショップもゆったり行える。コロナ対策のパーティションがあるので安心。



05



04



08



07



06

08. ワークスペースには、月々定額で利用できるお得なプランと、当日予約で使えるドロップイン(カフェの営業時間内、15分単位からの利用)の2通りの利用方法がある。
09. 毎週金曜・土曜は「L.D.K. FRESH LOCAL SHOP」の日!



09



01



人気の「ハンバーグプレート」(1,200円)にも新鮮な野菜がふんだんに使われている。ご飯は十六穀米を使用。スープとドリンク付き。



カウンターに並ぶスコーンなどの出来たての焼き菓子や、季節ごとに変わるスイーツなど、毎回訪れるたびに楽しみがある。

※価格はすべて税込

デザートは、プラス200円で「ホットコーヒー」(単品450円)などのセットドリンクを選ぶことができる。



[INFORMATION] CAFÉ & SPACE L.D.K.

川崎市麻生区栗平2-1-6 小田急マルシェ栗平2F
(小田急多摩線「栗平駅」北口より徒歩1分)
TEL.044-455-4551

☎9:00~18:00 ☀水曜
https://www.cafeandspaceldk.jp/
Facebook : @cafeandspaceldk
Instagram : @cafeandspaceldk
※営業時間などは変更となる場合あり。最新情報は店舗に確認を



と子どもたちがカウンター越しに私たちに話しかけに来てくれたりと、何だかほのぼのとしたいい風景なんですよ」と菅沼さん。

二つ目のスペース「ワークスペース」は、明るく落ち着いた空間で仕事や勉強に集中できる個人スペース。書斎のように、読書や趣味を楽しむ空間としても利用できる。

そして三つ目、ゆったりと座席を配置した居心地のよい「カフェ」は、まさに地元の人々が集いふれあい、つながる空間だ。「ここで開催されるイベントに参加した方が後日、カフェにいらしたり、カフェのお客様がイベントに興

味を持たれて参加するようになったりと、カフェでの出会いからどんどん新しいつながりができていくんです」

毎週金曜と土曜には店内で、地元農家が届けてくれる新鮮な朝採れ野菜や卵の販売も行っている。これらの素材を使ったカフェのメニューも好評で、農家から教わった野菜の調理法の話で来店客と盛り上がることも。

「これからも、おはようからこんにちはまで、一日のいつ来ても楽しい時間を過ごしてくりたいだけだよな、皆さんの「LDK」にしていきたいと思っています」

“ただいま”とくつろげる みんなのリビング

CAFÉ & SPACE L.D.K.

文/善田紫紺 撮影/編集部 写真協力/CAFÉ & SPACE L.D.K.



02

01. 木のぬくもりを感じる明るい店内。居心地がよく、ついつい長居してしまう。02. 大きな窓から光が差し込み、明るくて開放的。03. 店舗責任者の菅沼夏希さん(右)とパティシエの中島歌織さん(左)。



03

小田急多摩線・栗平駅の北口を背に、広場の左手にあるビル「小田急マルシェ栗平」の階段を上っていくと、ガラス張りの入口の向こうに、開放感あふれる空間が広がる。

「CAFÉ & SPACE L.D.K.」は2019年3月に「みんなが集まる、やさしい家」をコンセプトに、小田急不動産株式会社と株式会社WANTが業務提携して誕生した「コミュニティスペース」だ。

「店名は「Life・Design・Kurikira」の略称ですが、「LDK」にももう一つの家の意味も込められているんですよ」と店舗責任者の菅沼夏希さん。「店長」では

なく、店舗責任者としてスタッフ全員と一緒に一つの現場を作り上げる。

「LDK」には3つのスペースがあり、そのうちの1つ「レンタルスペース」には3つの部屋がある。会議をはじめ、ヨガやフラワーアレンジメントなどのワークショップのほか、キッチンとウッドテーブルを備えた自宅リビングのような部屋では、女子会や親族の会食など、利用目的に合わせてさまざまな使い方ができる。

「英語や習字などのお教室にもご利用いただいています。その間、お母さんたちはカフェでお茶をしながら雑談していたり、お教室が終わる



やわらかな視線で 新百合ヶ丘の情報発信

2019年4月にオープンし、2021年10月にサイトをリニューアルしました！
柿生タヌキ事情・麻生のミニ散歩・etuのあさお大好き日記など、地域の皆さんによる記事も連載中。SNSでは、細かな地域情報もピックアップしています。月に一度のオンラインオープンオフィス（地域の交流・情報交換）も開催。お気軽にご参加ください。

ロコッチ新百合ヶ丘
🏠 <https://locotch.jp/sygg/>
🐦 https://twitter.com/locotch_sygg
📷 https://www.instagram.com/locotch_sygg/



オンラインとリアルで ママのコミュニティ形成

地域コラボ企画として、無印良品さんの冷凍商品を使用したレシピ動画や、いのちのふんさんの畑での「畑からヨガ」動画を作成し公開。7月に開催した「こどもSDGsラボ@新百合ヶ丘」に協力団体として参加。通年で「ママナビかん」を、天才キッズクラブ・かわさきママのね、と共に運営し、オンラインとリアルでママのコミュニティ形成を続けています。

Beaulily (ビューリリー)
🏠 <https://shinyuribimama.wixsite.com/beaulily>
📷 <https://www.instagram.com/beaulily.s/>
📺 <https://www.youtube.com/channel/UCjyxFnnOU-OSUXbOkRrW2A>

COMMUNITY MEMBER ACTIVITY REPORT

コンソーシアムの会員は企業だけでなく、地域で活躍している「コミュニティ会員」も、その活動をご紹介します。



地域・行政・企業とで繋がりをしながら地域の子育て力UPを

川崎市の委託事業で地域子育て支援センターを運営しています。2021年4月からは、新たに地域子育て支援センターかきおの運営も。自主事業では、「ナウ産業」と「畑から、台所へ。」とコラボして地元お野菜と鉄板を使ったキャンプレシピブログを発信したり、保育付きワークショップをしんゆり交流空間リリオスにて開催。12月から保育付きワークショップも再開します。
最近では、地元の自然の豊かさを再確認し、ママ同士として、ママと地域がつながる取り組みとして、「親子で森でアート to 癒し空間プロジェクト」をスタートさせました。こちらは、黒川野外活動センターさんのご協力を頂きながら進めています。
12月13日 リンクママワークショップ・保育付き | Nしんゆり交流空間リリオス

Link mama (リンクママ)
🏠 <https://link-mama.jimdosite.com/> 📷 <https://www.instagram.com/linkmama2018/>



今年より野菜を育てながら 食育しています

多世代交流居場所「ふらっとリビング」は、地域の方や明治大学本所ゼミのご協力を得て、食育をテーマに多世代で交流しています。活動は第二水曜15時半から。今年度はあさおのSDGsの講座や博進社のコマ作りなどを行って遊んでいます。参加者募集中。今年より小規模多機能支え合いのご協力を得て、栗平に小さな菜園をスタート！土づくりから苗植え、お手入れや草抜きなど定期的に子どもたちと野菜を育てながら、食育しています。

ふらっと新百合ヶ丘
🏠 <https://shin-yuri.jimdofree.com/>
📍 <https://lin.ee/Wz2S5GJ>

新百合丘農住都市開発(株)

川崎市麻生区万福寺1-2-3 TEL. 044-966-1150 (代表)

Create our future together

人と人をつなぎ、地域の未来を描く

新百合ヶ丘駅がまだ山だった1980年2月、弊社が創刊した地域情報紙「マイタウンゆりがおか」は、この地に引っ越してきたばかりの皆様に、お店や医療機関などに関する暮らしに欠かせない情報を提供する、コミュニケーションツールとなりました。そして、習いごとやサークル、「売ります・買います」、イベント情報など、個人が発信する情報で人々をつなぎ、コンサートやお芝居、映画などを楽しんでいただく機会も提供し、「私たちのまちづくり」事業に日夜取り組みました。これが私たちの原点です。

会社設立から30年以上が経った2011年、社名を「エアブレイン」としました。時代とともにコミュニケーションの手段は大きく変化しましたが、変わらず持ち続ける「私たちのまちづくり」への想いを胸に、生活者・消費者の視点に立った「地域(エリア)」を切り口に、「人と人をつなぎ、情報を発信する企画会社(ブレイン)」として、事業を進めてまいります。

AreaBrain 株式会社エアブレイン

地域メディア「MYTOWN」発行・運営 / 印刷・デザイン / 販促・集客サポート
折込・DM配送 / WEBサイト制作・運営 / イベント企画・運営 / まちづくりサポート
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 1-10-5-304
TEL.044-954-2555 FAX.044-954-5869 <https://areabrain.co.jp/>

いい一日は、
きょうも、ここにある。

わたしは、
三井に
住んでいます。

すまいとくらしの未来へ
三井不動産レジデンシャル
MITSUI FUDOSAN RESIDENTIAL



コミュニティ会員 あさおのSDGs

文・撮影 編集部



継続した確かな活動のためにクラウドファンディングで資金調達をめざす

学校横断型でローカルアクションを起こし、麻生区が持つ社会、環境、経済的価値を子どもたちの目線から捉え、官民学が有機的につながるくきかけ>を作りたい。そんな想いで、区内在住・勤務の子育て世代7名が集まり活動を開始した「あさおのSDGs」。2021年7月、麻生区市民提案型協働事業に採択され、区内小中学生を募集し「麻生区SDGs推進隊」を結成した。フィールドワークを通じて麻生区版のSDGsマップを作成し、各小中学校や公共施設に掲示してもらう予定だ。

「なぜSDGsがわたしたちの世界に必要なだったのか」「自分が取り組んでみたいSDGsのゴールとその理由」を話し合うと、子どもたちの視線は鋭く、「本質を掴んでいますね」というのはリーダーの今井雄也さん。いま麻生区内にあるSDGs情報の洗い出しとマップ作成作業している。さらに、「こどもSDGsフォーラム」を開催することも決まった。こどもSDGsフォーラムは推進隊活動の発表と、行政や企業を招き、「麻生区の2030年を考える」

と題して、大人と子どもの対談の場を作りたい。また、活動を知っていただくためにプロモーション動画を作成し、youtubeで公開していますという。

SDGsのゴールは2030年。「麻生区SDGs推進隊」もそれまで活動を継続させたいが、費用をどう確保するか。また、麻生区だけではなく川崎市、またはSDGs未来都市となっている市町村でも活動を展開したい。そこで、一般社団法人へむけ、クラウドファンディングに挑戦した。「麻生区で作った、みんなの会社」としたいからだ。専有の時代から、共有の時代となりつつある現在、子どもたちと私たち大人が出来ることを、SDGsというツールを用い、ここ麻生区から発信していく。

【あさおのSDGs】

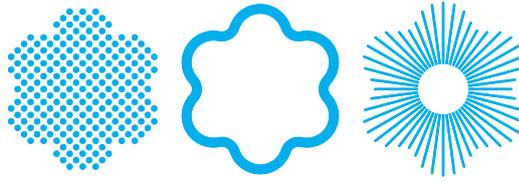
Youtube ▶ <https://www.youtube.com/watch?v=E6Dm8Vl00eE>

Ready for ▶ <https://readyfor.jp/projects/asaonosdgs>

SNS関連はQRにまとめています ▶



INSPIRE HUB SHINYURI



つどい つながり めくるめく

— みんなが輝く しんゆりへ —

新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 2021年度 会員一覧

幹事会員

新百合ヶ丘農住都市開発株式会社 昭和音楽大学 日本映画大学 三井不動産 odakyu

特別会員

一般財団法人川崎新都心街づくり財団
 特定非営利活動法人しんゆり・芸術のまちづくり
 新百合ヶ丘商店会
 公益財団法人川崎市文化財団 川崎市アートセンター

友好団体

川崎商工会議所
 麻生区町会連合会
 麻生区商店街連合会
 麻生観光協会
 公益財団法人川崎市文化財団
 川崎市麻生区社会福祉協議会

一般会員

- | | | |
|---|---|---|
| 中新産業株式会社
伸和コントロールズ株式会社
アジア航測株式会社
イオスタイル新百合ヶ丘
池尻産業株式会社
川崎信用金庫
大和証券株式会社
株式会社ビュグラ
フラワーショップまきば
小田急不動産株式会社
株式会社エリアブレイン
三井不動産レジデンシャル株式会社

SMBC日興証券株式会社
新百合ヶ丘オーバ
有限会社柿生恒産
株式会社北島工務店
株式会社スズユウ商事
セレサ川崎農業協同組合
大樹生命保険株式会社
大和情報サービス株式会社
学校法人桐光学園
畑から、台所へ。
株式会社 三井住友銀行
三井のリハウス 新百合ヶ丘センター | 三井ホーム株式会社
株式会社三矢研究所
有限会社山義産業

株式会社アイオル
税理士法人いさやま会計
イビディングリーントック株式会社
株式会社インクループ
株式会社オオバ
小田急商事株式会社
株式会社小田急ハウジング
小田急バス株式会社
くぼ皮膚科クリニック
株式会社ザイマックスアルファ
医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院
J:COM
有限会社ソフトウェアデザイン
株式会社タウンスタイリスト
ひらやま耳鼻咽喉科クリニック
福田一弘税理士事務所
株式会社フジタ
株式会社プレルーディオ
株式会社ポロスデザインシステム
株式会社マイライフ・ハウジング
三井のリパーク
三井不動産レジデンシャルサービス株式会社
株式会社山下設計
株式会社りそな銀行 | 有限会社アイ・ディ・ワイ
株式会社エヌ・ジー
株式会社CarnaEst
公益財団法人川崎西法人会
株式会社川崎フロンターレ
川崎百合丘ロータリークラブ
株式会社きらぼし銀行
株式会社道建
東電タウンプランニング株式会社
司法書士 梨子本綜合法務事務所
日本たばこ産業株式会社
株式会社 ニューレジデンス
野村證券株式会社
株式会社みずほ銀行
みずほ証券株式会社
三井住友信託銀行株式会社
株式会社三菱 UFJ 銀行
メルセデス・ベンツ新百合ヶ丘
株式会社横浜銀行
株式会社ロボット科学教育
新百合ヶ丘駅周辺景観形成協議会
しんゆりベッカリー
誠和産業株式会社
ネットヨタ神奈川株式会社
社会福祉法人まごころ
マブレ専門店街
百合ヶ丘家族葬ホール
株式会社良品計画
株式会社よみうりランド |
|---|---|---|

コミュニティ会員

かわさきママのわ
 グリーンバード新百合ヶ丘
 新百合ヶ丘みちあそび実行委員会
 Beaulily
 ぷらっと新百合ヶ丘
 NPO法人柿生地区総合型地域スポーツクラブGET
 Link mama
 あさおのSDGs
 ロコっち新百合ヶ丘

コンソーシアムの
 詳細については
 こちらから



※2021年12月現在